

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2025年4月1日

事業ID: 2024007683

事業名:舶用工業の海外海事展への参加・広報

団体名:一般社団法人 日本舶用工業会

代表者名:木下 茂樹

TEL: 03-3502-2041

事業完了日: 2025年3月31日

1.事業内容:

日本の舶用工業製品市場の維持及び拡大を目的に、以下の通り海事展への出展を行った。

- Offshore Technology Conference 2024展示会

時期:2024年5月6日～9日

場所:アメリカ・ヒューストン

- Posidonia 2024展示会

時期:2024年6月3日～7日

場所:ギリシャ・アテネ

- SMM Hamburg 2024展示会

時期:2024年9月3日～6日

場所:ドイツ・ハンブルク

- Offshore Technology Conference 2025展示会(準備)

時期:2025年5月5日～8日

場所:アメリカ・ヒューストン

- Nor Shipping 2025展示会(準備)

時期:2025年6月3日～6日

場所:ノルウェー・オスロ

- 英文広報誌(JSMEA NEWS)の刊行

内容:年2回(予定)

頁数:12頁(1回)(予定)

2.事業内容詳細:

別紙1ご参照下さい。

3.契約時事業目標の達成状況:

【助成契約書記載の目標】

- 我が国舶用工業の売上高を増加させるため、継続的に海外展示会に参加しながら広報活動を行い、優れた製品等をPRしながら海外顧客との関係構築・維持発展を行ってきた。我が国造船所等と一体となり舶用工業の売上高を増加させる。
- 顧客へのPRを行なながら、各国の舶用製品技術情報を入手し、差別化を図りながらより良い製品開発に繋げる。一方で、長期的観点における新市場への開拓ニーズも重要であることから、展示会参加のために訪問した国や近隣諸国から、出来る限りオフショア、漁船、防衛装備品市場等の新市場の情報を収集し、新規顧客の掘り起こしを進める。

【各展示会の出展企業数、集客数目標】

- ・Offshore Technology Conference 2024展示会
 - ① DeepStarとの連携を目指し、グローバルなPRを行うことにより、Oil & Gas分野への引き合いや成約数を増やすと共に、新エネルギー需要等に関する情報収集を行う。
 - ② 出展企業から報告結果を集計：訪問者数200名以上
- ・Posidonia 2024展示会
 - ① ギリシャ船主からの引き合いや成約数を増やす。
 - ② 出展企業から報告結果を集計：訪問者数：1500名以上
- ・SMM Hamburg 2024展示会
 - ① ドイツ船主や造船所、その他欧州海事関係者からの引き合いや成約数を増やす。
 - ② 出展企業から報告結果を集計：訪問者数：1500名以上

【目標の達成状況】

1. Offshore Technology Conference 2024 展示会

本展示会はオフショアに関するイベントとしては世界最大規模であり、約 30,000 人が来場した。当会の参加は 2013 年以来、今回で 11 度目となる。当会のこれまでの参加実績が本展示会主催者に認められ、会場中央フォーラムエリアに近い位置に日本パビリオンを構えることができ、日本海事協会及び会員企業等 12 社とともに参加した。

会期中は Oil & Gas 関連の展示だけでなく、世界各国の脱炭素化に向けた新エネルギー開発技術や活用方法、二酸化炭素回収・有効利用・貯留(CCS)、海上風力発電や関連支援船情報等、様々なジャンルで計 51 ものセミナー発表やパネルディスカッション等が実施され、脱炭素化に向けた新エネルギー開発、デジタル技術等に関する注目度の高さが感じられた。

日本パビリオンでは、DeepStar とのプロジェクトを紹介する特設コーナーを設置し、石油会社等から多数の訪問があった。各パビリオン出展社との相互連携にもつながり、我が国船用関連の機器や技術の PR をより効果的に行うことができた。

また、会期前の 5 月 5 日(日)には Minutes Maid Park 日本パビリオンのネットワーキングレセプションを開催し、DeepStar に参画する石油メジャー幹部メンバー、エンジニアリング会社等をはじめとするオフショア関係者等約 140 名が参加し、積極的な情報交換に努めた。

会期初日には Keynote Session として、日本パビリオン出展社である(株)商船三井が、「Unleash the Power of Green Hydrogen : Shaping the Future of Sustainable Energy」と題して、同社の Wind Hunter プロジェクト(風力と水素を活用したゼロエミッションプロジェクト)の取組みについて講演を行い、約 100 名が参加した。

展示会会期中には、木下茂樹会長と小田茂晴副会長及び会員企業と共に、(株)JERA、東京ガス(株)のヒューストン事務所を訪問し、同社の米国事業についての紹介を受けた他、脱炭素化に関する取り組みや今後のエネルギー動向について意見交換を行った。また、オフショアリギ等の修繕を手掛けるスペインの Astican Shipyard の交流会に参加する等、積極的に情報収集や関係構築に向けて取り組んだ。

展示会最終日には、日本パビリオン出展企業間で来年の OTC 2025 に向け、出展方法や PR 活動に関する意見交換会を行った。さらに、展示会終了翌日の 5 月 10 日には、DeepStar Technology Symposium 2024 に参加し、情報収集を行った。

2. Posidonia 2024展示会

本展示会への参加は、日本船舶輸出組合及び日本海事協会とともに日本パビリオンを形成し、会員

企業18社と共に参加した。本展示会主催者によれば、会期中32,527名の来場者があり、日本パビリオンはギリシャ船主をはじめ各国の海事関係者で終始賑わった。

また、新たに新燃料対応や IoT、環境機器等を特集し、設置するソリューション展示コーナーを新たに設け、当会会員企業19社がそれぞれ関連製品・技術・サービスの動画やカタログを展示した。

展示会初日には、国土交通省・國場副大臣、在ギリシャ日本国大使館・伊藤大使、日本船舶輸出組合・宮永理事長、一般財団法人日本海事協会・坂下会長及び当会木下会長による日本パビリオンの開所式を行い、テープカットを実施した。テープカット後、國場副大臣、伊藤大使による日本パビリオンの巡覧を行った。また、主催者によるオープニングセレモニーにはギリシャ共和国・ミツオタキス首相が出席し、日本パビリオンに訪問した。

展示会2日目には、当会木下会長、久津副会長がギリシャ船主連合(Union of Greek Shipowners)を訪問し、Melina Travlos 会長らと面談を行い、脱炭素への取組みやサプライチェーンに纏わる事柄に加え、同連合やギリシャ船主との今後の関係拡大に関して、意見交換を実施した。

また、日本船舶輸出組合が主催した「Japan seminar -Challenges by Japan-」へ参加し、当会会員企業4社がプレゼンテーションを実施した。

展示会3日目には日本パビリオン内のプレゼンテーションコーナーにて、当会会員企業8社がプレゼンテーションを実施した。

3. SMM Hamburg 2024展示会

本展示会は、約2,200社の出展社、世界100ヵ国以上から参加がある世界最大の海事展であり、会期中に4万8千人の来場者があった。当会は会員企業27社と共に日本パビリオンを形成し、参加した。

展示会会期前に、木下会長、久津副会長、廣瀬副会長がドイツ船主協会を訪問し、Dr. Gaby Bornheim 殿 (President – German Shipowners Association; Managing Director – Peter Döhle KG)、Dr. Martin Kröger 殿 (CEO – German Shipowners Association)らと面談を実施した。日本の脱炭素化に向けた我が国舶用機器の開発状況、NEDOグリーンイノベーション基金に係る技術開発状況について説明を行った後、相互に意見交換を行った。また、同日午後に在ハンブルク総領事館の戸田真介総領事を訪問し、当会の取組み等について説明を行った。

会期2日目には展示会主催者のプレゼンテーションであるGreen Stageに”Japan Green Challenges”と題して当会が参加し、会員企業4社がプレゼンテーションを行い、100名超の聴講者が参加し満席となり、日本の脱炭素化や省エネ等に向けた活動への興味や関心が非常に高いことが窺われた。

また、同日夕刻に展示会場近郊のホテルにて、ドイツ船主協会と共にネットワーキングセッションを実施した。セッションでは、ドイツ船主協会、株商船三井による講演が行われ、ドイツ及び欧州関係者から多くの聴講者が訪れ、総勢190名の参加を得て出展会員企業間との活発な意見・情報交換が行われた。

今回出展した会員企業からは「日本国内及び代理店からは得られない情報や最新動向を知ることができた」、「今まで取引のなかった海外メーカーと多くコネクションを作ることができた」といった声が多くあがつた。

4.事業実施によって得られた成果:

1. Offshore Technology Conference 2024展示会

世界最大のオフショア展示会に出展し、我が国舶用工業の PR を通じて展示会来場者や出展者との意見交換、関係構築を図ることができた。

また、Deepstar 特設コーナーを設けたことで、当会会員企業との相互連携につながり、多くの石油会社等が来場し、PRを効果的に実施できた。

加えて、展示会の“Keynote Session”にて出展企業による講演を行ったことや、ネットワーキングセッションでの関係者との交流、情報交換を行い、日本企業のオフショア市場への参入・拡大へ向けた

プレゼンス向上へ一定の寄与を行えた。また、現地関連企業への訪問や交流会への参加、シンポジウムへの参加を行い、積極的に情報収集した。

世界的に脱炭素が注目され、エネルギー転換時期である中、効率よく製品プロモーションや情報収集を実施することができた。

・当会出展者へのアンケート結果

<商談件数>

出展社	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
件数	0	2	3	0	0	0	3	1	0	1	0	0	0

<成約件数>

出展社	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. Posidonia 2024展示会

本展示会は、ギリシャ船主を中心に欧州の海事関係者が多数参加する海事展である。近年の環境規制強化やEU排出量取引制度(EU ETS)の海運への導入などから、省エネ、環境機器へ関心が高まっており、会員企業の環境対策製品や最新技術、新燃料対応への取り組みをギリシャ船主ら海事関係者へ効率よくPRする場となった。

また、ギリシャ船主協会を訪問し、会員企業の脱炭素に向けた取り組みをPRした他、意見交換を行い、情報収集、関係強化を行うことができた。

・当会出展者へのアンケート結果

<ブース訪問者数>

出展社	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
訪問数	400	1000	200	50	160	400	100	500	200	80	1000	100	250	250
出展社	15	16	17	18										
訪問数	150	200	100	150										

<商談件数>

出展社	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
件数	15	50	2	0	3	10	10	4	5	20	20	10	30	30
出展社	15	16	17	18										
件数	10	20	5	15										

<成約件数>

出展社	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
件数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
出展社	15	16	17	18										
件数	1	0	0	0										

3. SMM Hamburg 2024展示会

本展示会は、世界最大規模の海事展であり欧州船主をはじめ世界各国の海事関係者が参加する。また、欧州を中心に世界各国から多数の舶用機器メーカーが出展、参加することから、欧州市場の最新

動向、最新技術、製品の情報収集ができる展示会である。

当会は展示会主催者のプレゼンテーションへ参加し、会員企業が製品、最新技術のPRを行った他、ドイツ船主協会へ訪問し、日本の舶用機器メーカーの脱炭素への取組みや開発状況のPRを行った。また、ドイツ船主協会と共にセミナーを開催し、同協会、同協会会員企業との情報交換、交流に努めた。

本展示会にて欧州海事関係者へ積極的に我が国舶用機器のPRを行った他、ドイツ船主協会との関係強化、情報収集を行うことができた。

・当工業会スタンド出展者へのアンケート結果

＜商談件数＞

出展者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人数	0	0	0	2	0	5	0	0	3	0	5	3	5	5	1

出展者	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人数	0	10	15	0	2	1	2	3	10	0	0	0

＜成約件数＞

出展者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	5	0	0	10	1

出展者	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
人数	0	4	10	0	0	0	0	0	0	1	0	0

事業成果物：

【成果物がアップロードされているCANPANのURL】

<https://fields.canpan.info/report/detail/30084>

事 業 報 告

我が国舶用工業の優秀性、信頼性を船主等に認識してもらうための広報活動は、長期的視野に立ち継続して実施することと、市場環境に応じた柔軟な対応をすることが重要であり効果的であるとの観点から、当工業会は海外の市場性を勘案して展示会へ参加してきた。

また、当工業会では、単に展示会に参加するだけでなく、「製品紹介セミナー」、「レセプション」、「船主・造船所訪問」など、いわば能動的に多様な広報活動行うこととしているが、更にビジネスチャンスを掴むため、日本パビリオンの形態を改良するなど展示方法や各イベント方法を工夫し、需要喚起と市場の維持拡大、並びに新分野への進出を図り、もって我が国舶用工業界のグローバルな業務発展に寄与することを目的として実施した。

(1) Offshore Technology Conference 2024展示会

1) 展示会概要

- ① 名 称:Offshore Technology Conference 2024
- ② 開催地:アメリカ・ヒューストン
- ③ 会 場:NRG Park
- ④ 主催者: Society of Petroleum Engineers
- ⑤ 会 期:2024年5月6日(月)～5月9日(木)

2) 当工業会の参加概要

- ① 展示面積:約 186m² (ブース番号 1947、2047)
- ② 当会出展者:13 社
株INPEX、潮冷熱株、株オメガシミュレーション、JFE スチール株、株商船三井、
株シンコー、大同特殊鋼株、ダイハツディーゼル株、(一財)日本海事協会、日本製鉄株、
株ハイボット、白山工業株、富士貿易株

3) その他の事業

- 2024年5月5日 ジャパンパビリオンネットワーキングレセプション
- 2024年5月6日 株JERA、東京ガス株訪問
- 2024年5月9日 Astican Shipyard の交流会参加
- 2024年5月9日 日本パビリオン出展企業意見交換会
- 2024年5月10日 DeepStar Technology Symposium 参加

4) 派遣者及び期間

- 石田 普士(業務部課長)
2024年5月1日から5月13日まで 12日間
- 水谷 太紀(業務部)
2024年4月29日から5月15日まで 16日間

(2) Posidonia 2024 展示会

1) 展示会概要

- ① 名 称:Posidonia 2024
- ② 開催地:ギリシャ・アテネ
- ③ 会 場:Metropolitan Expo
- ④ 主催者:Posidonia Exhibitions SA

⑤会期:2024年6月3日(月)～7日(金)

2)当工業会の参加概要

①展示面積:269 m²(ブース番号 4.101)

②当会よりの出展者:ブース出展:18社・ソリューション展示出展:19社
(ブース出展)

潮冷熱(株)、商船三井テクノトレード(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、(株)シンコー、セムコ(株)、ダイハツディーゼル(株)、中国塗料(株)、東部重工業(株)、藤倉コンポジット(株)、富士貿易(株)、兵神機械工業(株)、眞鍋造機(株)、三浦工業(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、(株)ミカサ、(株)三井 E&S、ヤンマーパワー・テクノロジー(株)、(株)YDK テクノロジーズ
(ソリューション展示出展)

潮冷熱(株)、川崎重工業(株)、商船三井テクノトレード(株)、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、セムコ(株)、ダイハツディーゼル(株)、中国塗料(株)、東京計器(株)、ナカシマプロペラ(株)、BEMAC(株)、富士貿易(株)、藤倉コンポジット(株)、兵神機械工業(株)、三浦工業(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、(株)ミカサ、(株)三井 E&S、ヤンマー・パワーテクノロジー(株)、(株)YDK テクノロジーズ

3)その他の事業

2024年6月3日 日本パビリオンオープニングセレモニー

2024年6月4日 ギリシャ船主協会訪問

2024年6月4日 Japan Seminar -Challenges by Japan- 参加

2024年6月5日 プレゼンコーナーにてプレゼン実施

4)派遣者及び期間

澤山 健一(専務理事)

2024年5月31日から6月8日まで8日間

石田 普士(業務部課長)

2024年5月27日から6月7日まで11日間

丸山 泰裕(業務部)

2024年5月21日から6月9日まで19日間

(3) SMM Hamburg 2024 展示会

1)展示会概要

①名称:SMM Hamburg 2024

②開催地:ドイツ・ハンブルク

③会場:Hamburg Messe

④主催者:Hamburg Messe und Congress GmbH

⑤会期:2024年9月3日(火)～9月6日(金)

2)当工業会の参加概要

①展示面積:400m² (ブース番号 B7.531)

②当工業会よりの出展者:27社

潮冷熱(株)、(株)エヌワイ、(株)サンフレム、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、商船三井テクノトレード(株)、ダイハツディーゼル(株)、東京計器(株)、ナブテスコ(株)、ニコ精密機器(株)、BEMAC(株)、富士貿易(株)、ボルカノ(株)、(株)ミカサ、三菱化工機(株)、ムサシノ機器(株)、ヤンマー・パワーテクノロジー(株)、(株)リケン、旭化成エンジニアリング(株)、(株)宇津木計器、(株)シンコー、(株)TOWATECHNO、長崎船舶装備(株)、西芝電機(株)、阪神内燃機工業(株)、兵神機械工業(株)、三井E&S造船(株)、(株)帝国機械製作所

3)その他の事業

- ① 2024年9月2日 ドイツ船主協会訪問
- ② 2024年9月2日 在ハンブルク総領事館訪問
- ③ 2024年9月4日 Japan Green Challenge セミナー開催
- ④ 2024年9月4日 Japan Cocktail Networking Reception 開催

4) 派遣者及び期間

澤山 健一(専務理事)

2024年8月31日から9月8日まで8日間

石田 普士(業務部課長)

2024年8月26日から9月6日まで11日間

水谷 太紀(業務部)

2024年8月28日から9月8日まで11日間

(4) Offshore Technology Conference 2025 展示会(準備)

・実施経過

- 令和5年6月20日:主催者に対し、出展料金の支払い(1回目)を行った。
- 令和5年8月14日:会員企業に対し、出品案内を開始した。
- 令和6年1月25日:主催者に対し、出展料金の支払い(2回目)を行った。
- 令和7年2月25日:スタンド装飾業社との契約を締結した。

(6) Nor Shipping 2025展示会(準備)

・実施経過

- 2024年6月30日:会員企業に対し、出品案内を開始した。
- 2024年12月25日:スタンド装飾業者との契約を締結した。
- 2025年1月10日:主催者に対し、会場借用費用の支払いを行った。
- 2025年3月7日:スタンド装飾業者へ装飾費用の支払い(1回目)を行った。
- 2025年3月7日:スタンド装飾業者へ追加装飾費用の支払いを行った。

(7) 英文広報誌の刊行

・実施経過

- 2024年7月29日:No.128を発刊した。
- 2025年2月3日:No.129を発刊した。

当工業会会員の新製品や活動状況をPRした JSMEA NEWS No.127, JSMEA NEWS No.128を下記の船主、造船所、設計企業等に対してメール配信を行った。

合計:3,793名

(内訳)シンガポール:334名/EU:173名/香港:286名/GCC諸国(中東):512名/

フィリピン:330名/マレーシア:174名/台湾商船:418名/台湾漁船:229名

USA(オフショア):269名/トルコ:505名/インドネシア:360名/ギリシャ:47名

ベトナム:86名/中国:70名

以上